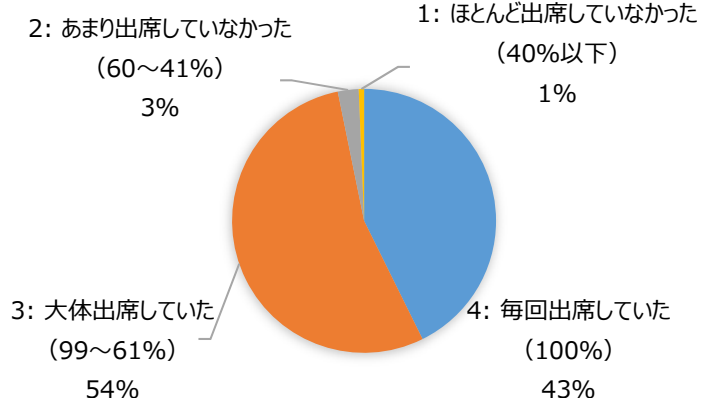
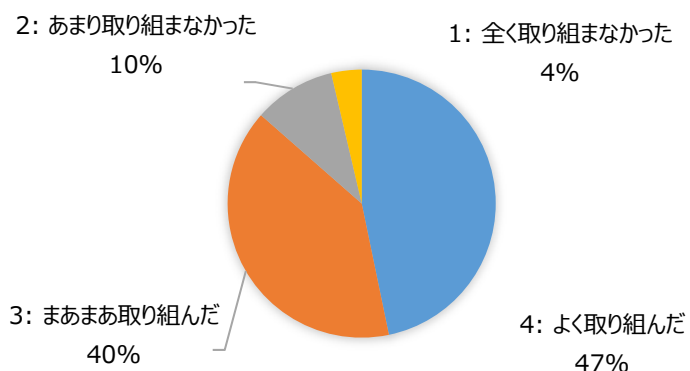


2022 年度前期授業アンケート 全体概要

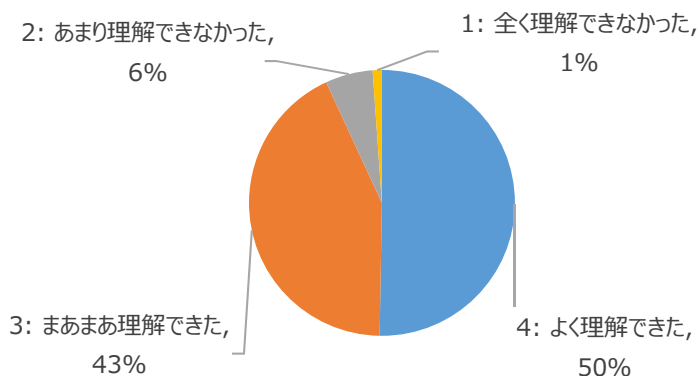
Q1 学生の出席状況



Q2 予習・復習・課題などへの取り組み状況



Q3 授業内容の理解



実施概要

1. 目的：
学生の授業の理解度、授業運営方法の有効性などを把握し、担当教員の授業改善に役立てる。
2. 対象科目：
実習科目、複数教員科目を除く全科目
(262 科目：専任 190 科目、非常勤 72 科目)
3. 調査方法・項目：
Google Form による web アンケート
13 項目（うち自由記述 2 項目）
4. 調査期間： 6/30 (木) ~7 月 13 日 (水)
5. 回答状況： 延べ 3224 件の回答
6. 回答率*：
専任 58.9%
非常勤 57.8%
全体 58.7%

※科目別には、0%~100%とばらつきが見られた。

■「Q3 授業内容の理解」については、「よく理解できた」と「まあまあ理解できた」を合計すると、93%となり、回答した学生はおおよそ授業が理解できていると思われる（昨年度後期 83%）。

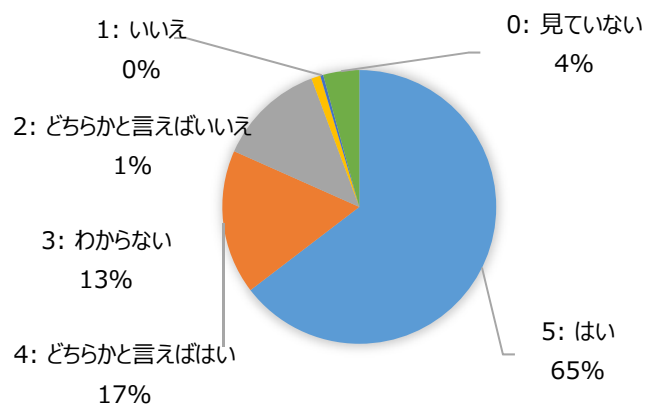
■「Q5 授業の進行度合 (76%)」、「Q6 課題の量 (77%)」については、どちらも 70%以上の学生が「ちょうどよい」と回答している。（昨年度後期はそれぞれ 75%、73%）。

■「Q7 教員から学生へのフィードバックの有無」は、「はい」「どちらかといえばはい」の合計が 85%であり、昨年度後期 (92%) から 7 ポイント減少している。

■「Q8 (教員による) 学生の対する授業参加への促し」および「Q9 担当教員の熱意」については、「はい」「どちらかといえばはい」を合計するとそれぞれ 94%、97%となっており、「Q10 総合満足度」の高さ（「はい」「どちらかといえばはい」の合計 95%）につながっている。

2022 年度前期授業アンケート 全体概要

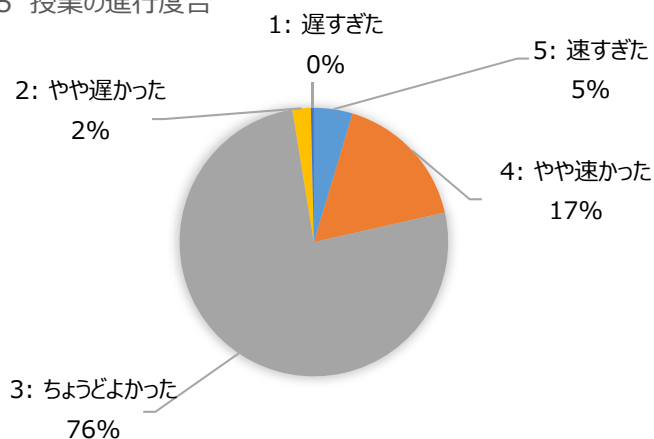
Q4 「シラバス」の授業への適切な反映



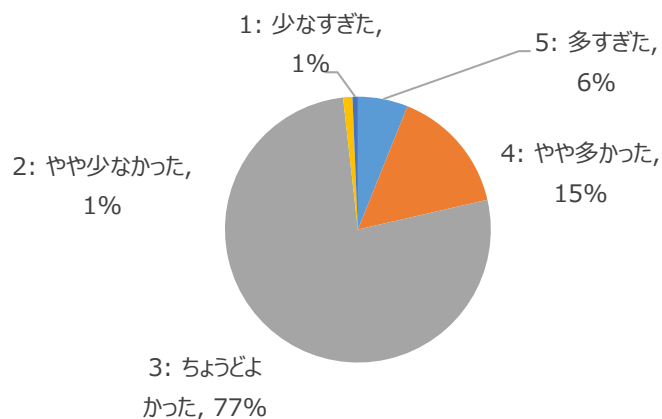
■「Q11 開智式教育にもとづく授業方法」は、昨年度後期と比較し、以下の5項目で「多かった」が上昇した。

- ②ディスカッション (+5 ポイント)
- ③グループ・ペアワーク (+7 ポイント)
- ⑤PC・タブレット利用 (+7 ポイント)
- ⑥ビデオ・ビジュアルの工夫 (+4 ポイント)
- ⑦ICT機器の利用 (+5 ポイント)

Q5 授業の進行具合

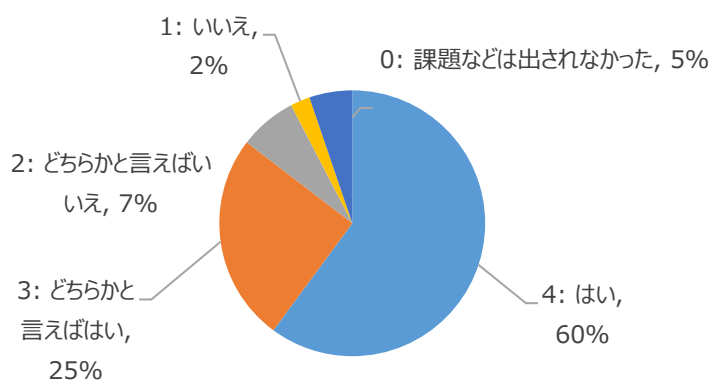


Q6 課題の量

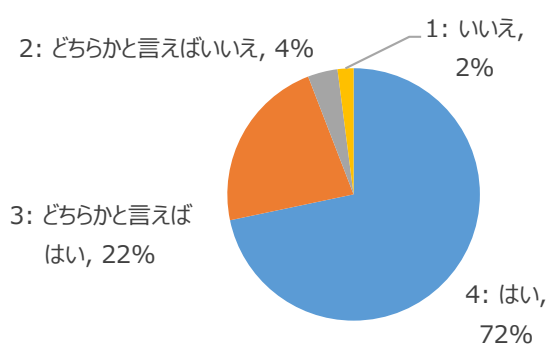


2022 年度前期授業アンケート 全体概要

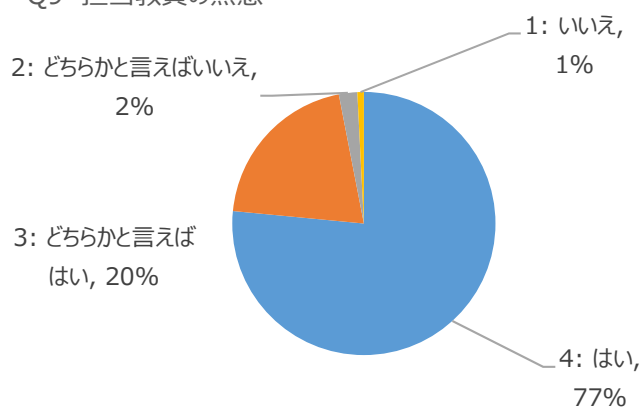
Q7 教員から学生へのフィードバックの有無



Q8 授業への学生参加の促し

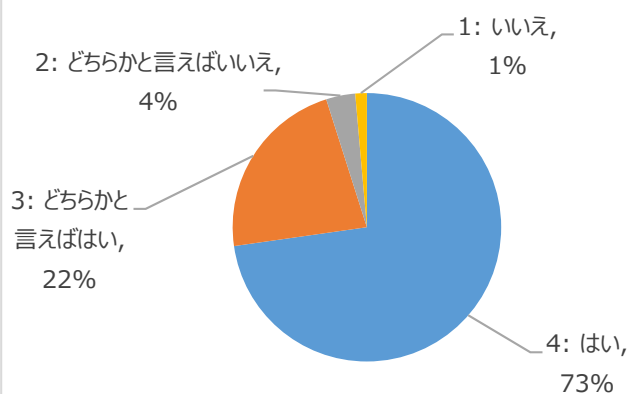


Q9 担当教員の熱意

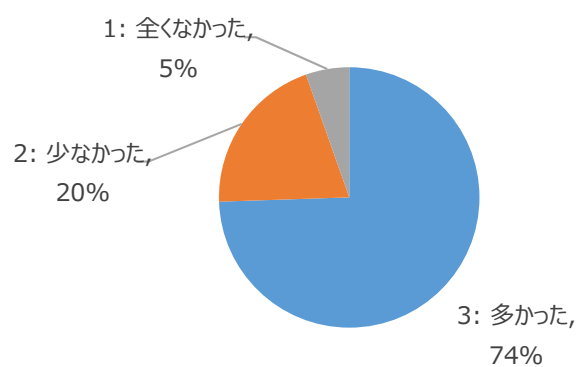


2022 年度前期授業アンケート 全体概要

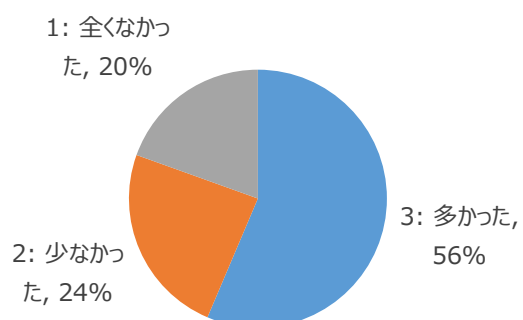
Q10 総合的満足度



Q11 ①レジュメや資料の工夫

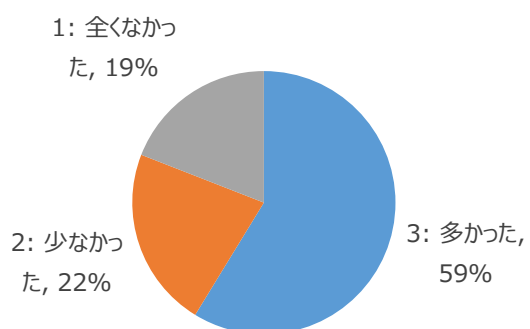


Q11 ②ディスカッションの有無

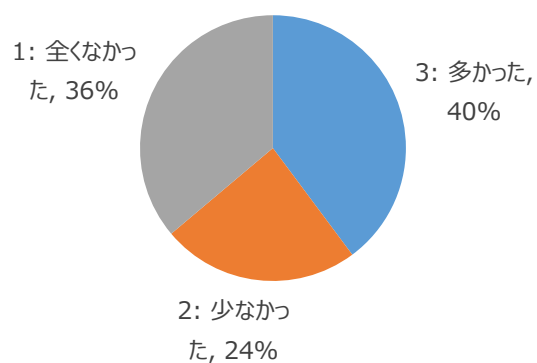


2022 年度前期授業アンケート 全体概要

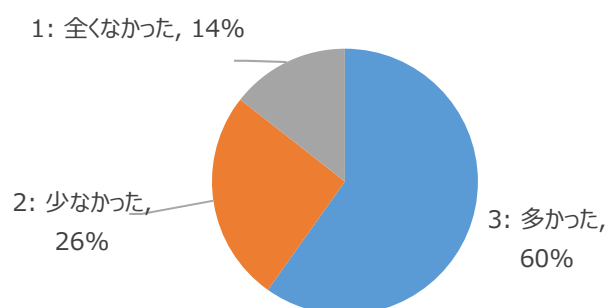
Q11 ③グループワークやペアワークの有無



Q11 ④プレゼンテーションの有無



Q11 ⑤学生のPC・タブレット使用



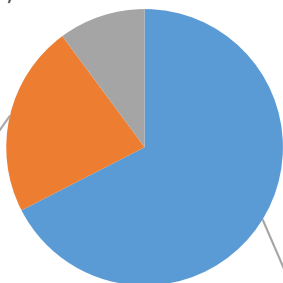
2022 年度前期授業アンケート 全体概要

Q11 ⑥ビデオ（動画）やビジュアルの工夫

1: 全くなかった, 10%

2: 少なかった,
22%

3: 多かった,
67%

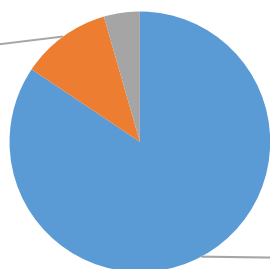


Q11 ⑦教員のICT機器の活用

1: 全くなかつ
た, 4%

2: 少なかった,
11%

3: 多かった,
84%



Q11 ⑧英語による説明、キーワード紹介 英語科目除く

1: 全くなかった, 19%

2: 少なかった,
32%

3: 多かった,
49%

